

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公開番号】特開2012-24912(P2012-24912A)

【公開日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2012-006

【出願番号】特願2010-176766(P2010-176766)

【国際特許分類】

B 2 6 D 3/28 (2006.01)

【F I】

B 2 6 D 3/28 6 1 0 P

B 2 6 D 3/28 6 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月8日(2013.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

次に、食肉スライサーの第 2 の例について図 5 を用いて説明する。この第 2 例は本出願人による特許第 4 3 7 1 3 7 8 号公報に開示された食肉スライサーに本発明を適応させようとするものであって、機体 2 5 に軸支された水平軸に取着された丸刃 2 6 と、機体 2 5 の底部に配設された水平支持軸 2 7 を中心としてクランク装置 3 0 によって揺動される肉箱 2 8 からなる食肉スライサーにおいて、肉箱 2 8 が揺動始端部において外向きに傾いて肉箱 2 8 に載置した食肉が寄りかかる側の側壁に張設されたコンベヤベルトに代えて本願発明に係るローラーコンベヤ 5 を装着するようにしたものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

特許第 4 3 7 1 3 7 8 号公報に見られるように側壁部に底部コンベヤと同調して食肉を送り出す側部コンベヤを張設すると送り出しは確実となる反面、側部コンベヤの駆動装置が必要となりその分構造が複雑となり作業後の洗浄のための分解も困難となる。

本例のように駆動装置を必要としないローラーコンベヤ 5 とすることにより、その問題点が解消される。